

篠山川のドロムシ

後藤光男

筆者は1963年7月20～21日の両日にわたり開催された、神戸昆虫同好会第100回記念採集会に参加し兵庫県篠山町を訪れたが、その間同町の南端を流れる篠山川にて若干のドロムシ類甲虫を採集したので、ここに報告する。

篠山川は加古川の一支流で篠山盆地を東西に流れ、水はやや清いがその流れはゆるやかで、採集し得た種類は平地種のみであつた。

Family Psephenidae ヒラタドロムシ科

1. *Mataeopsephenus japonicus* Matsumura ヒラタドロムシ 3sps.

Family Elmidae ホソドロムシ科

1. *Ordobrevia foveicollis* (Shönfeldt) キスジミゾドロムシ 6sps.

本種は灯火にもよく飛来するが、サカズキが岳へ向う国道の街灯にも集まっていた。篠山川では水中の石に生じた緑色の藻に集まっているのを多く見受けた。

2. *Stenelmis miyamotoi* Nomura et Nakane ミヤモトミゾドロムシ 4sps.
3. *Stenelmis nipponica* Nomura イブシミゾドロムシ 3sps.
4. *Grouvellinus nitidus* Nomura ツヤナガアシドロムシ 1sp.
5. *Zaitzevia rivalis* Nomura ミゾツヤドロムシ 4sps.
6. *Zaitzeviaria brevis* Nomura ヒメツヤドロムシ 3sps.
7. *Zaitzeviaria ovata* Nomura マルツヤドロムシ 1sp.

以上短時間の採集であつたので上記の種に止まつたが、サカズキが岳山麓部の溪流部に網を入れたなら尚若干の追加種が出るのではないかと思つている。

新 入 会 員

380

381

382

383

384

住 所 変 更

18

289

87

255

130

298

申 告 退 会

認 定 退 会 (1963 . 8 . 1)

例 会

第51回例会 昭和38年6月13日

出席者：藤田國雄・後藤光男・林 匡夫・井上貞信・河野 洋・村上喜代志・
中川宗次郎・大倉正文・岡本 健・和田繁治・山口道夫
井上貞信……印度支那3国の昆虫類について(標本の回覧あり)

第52回例会 昭和38年8月11日

参加者：茶谷徳行・藤田國雄・福貴正三・林 匡夫・生谷義一・井上貞信・
河野 洋・村上喜与志・中川宗次郎・中村新次郎・西川義二郎・
野村 全・大倉正文・阪野俊一・滝尾増夫・戸沢信義

戸沢信義……最近の採集における採集コースとその採集品について

「戸沢信義先生昆虫学業50年記念会」と共催で、先生の講話のあと採集会を予定していたが、生憎の雨天のため成安寺へ参拝して虫供養(これは先生の寄進)を行ない、その後親交をのぞむ「花屋敷」でビール飲杯、午後3時頃まで懇談会を開き解散した。

「ねじればね」の発行巻号について

「ねじればね」の発行巻号に若干ミスプリントがありますので、下記のとおり訂正ならびに正しい日付を列記しておきます。

Vol. 1, No. 1.	1956年 4月	
No. 2.	" 12月	
Vol. 2, Nos. 1&2.	1957年10月	
Vol. 3, Nos. 1&2.	1958年10月	
Vol. 4, Nos. 1&2.	1959年10月	
Vol. 5, No. 1.	1960年 6月	
No. 2. (通巻第7号)	" 9月	(この号は15周年大会予告として発行したものです。)
No. 3. (" 第8号)	" 10月	(創立15周年大会記念号)
No. 4. (" 第9号)	" 12月	(この号はVol. VI, No. 1.と印刷されています。)
Vol. 6, No. 1. (" 第10号)	1961年 4月	
No. 2. (" 第11号)	" 8月	
No. 3. (" 第12号)	" 12月	
Vol. 7, No. 1. (" 第13号)	1962年 4月	
No. 2. (" 第14号)	" 3月	
No. 3. (" 第15号)	" 12月	(この号はVol. VII, No. 1.と印刷されています。)
Vol. 8, No. 1. (" 第16号)	1963年 6月	(通巻第16号が抜けています)

日本産甲虫チエツクリストの頒布

- No. 1~No. 8
 No. 9. 日本産天牛類仮目録(4)
 No. 10. 日本産食糞コガネムシ類目録(1)
 No. 11. 同 上 (2)
 No. 12. 日本産天牛類仮目録(5)
 No. 13. 日本産アトキリゴミムシ類目録(1)
 No. 14. 同 上 (2)
 No. 15. 日本産食糞コガネムシ類目録(3)
 No. 16. 日本産天牛類仮目録(6)
 各号 共30円

バツタナンバー

- 第 1 巻~第 4 巻一組(但し第2巻1・2・4号欠) 300円(残部僅少)
 第 5 巻~第 9 巻 各巻につき 400円(第5巻は残部僅少)
 第10巻~第13巻 各巻につき 500円
 第14巻~第15巻 各巻につき 600円
 総目録(第1巻~第10巻) 50円
 尚第14巻~第15巻を3月末までに希望される場合には500円に特別割付いたします。

志賀昆虫普及社製品のあつせん

志賀製品の取扱いを始めて大変好評ですが、材料代や職人手間賃の高騰で「あつせん」を始めた頃に比べ非常に高くなっています。荷造費・送料も共に値上りしてきていますので、個人で注文されてもある程度の割引を受けていて定価以上の割高となりますので、できるだけ当会の代理あつせんを御利用下さい。纏めて多量注文いたしますので定価かそれ以下でお求め願えます。

インロー型標本箱	大型 36×27cm (総桐製・厚コルク敷・一等品)	1箱	560円
"	小型 31.5×22cm(")	1箱	380円
携帯用標本箱	(ポケット型) 17×10cm (総桐製)	1箱	120円
シガ昆虫針	(無頭ステンレス製) 1・2・3号 100本1包	1包	70円
吸虫管	(ゴム管付二重式)	1本	160円
ピンセット	(ステンレス製先尖)	1本	250円
ルーペー	(金属菱形繰出し) 正10倍	1ヶ	600円
平均台	(小型)	1ヶ	85円

この外御入用のものがあればお申出下さい。当会から注文の際取寄せておきます。現品は芝田太一氏宅(大阪市東区淡路町4丁目68・芝田ビル・電話:大阪231局8756番)にありますから包装用具お持ちの上お越し下さい。

ラベル: 属名・種名・地名等小型で美しいラベルの便宜を計っています。詳細は編輯者まで御問合せ下さい。

昆虫学評論第16巻の会費を御納入下さい

第15回大会において当学会の会費は1巻につき750円とすることに承認されました。昆虫学評論第16巻第1号が少しく遅くなりましたが、引続き第2号を組版一部校正中で間もなくお送りします。まだ第16巻の会費を納入されない方をお見受けしますので、遅くとも2月末日までに御納入下さい。

第16巻から1巻につき750円です